

**明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会 第1回 農産物等研究専門部会
議事要旨**

- 1 開催日時：平成29年8月2日（水）14:00～15:00
- 2 開催場所：明治大学黒川農場 1-A 会議室
- 3 出席者：[座長] 小清水客員教授
[部会員] 安藤委員、梅澤委員、市川委員、志村委員、小川（暁）委員、保谷委員、山中委員、岩淵委員
[事務局] 川崎市経済労働局都市農業振興センター 農地課 小川（真）主任、地引保全係長
コンサルタント（株）UR リンケージ 遠藤、牧野、會田、寺西

4 議事

(1) 大学と農家の意見交換会の開催について

①明大黒川農場で取り組まれている研究を見学する機会について、部会員、明大の先生方、JAなどと日程を確認しつつ10月上旬で候補日を設け、実施したい。

(2) アスパラガスの採りつきり栽培について

- ①今のところ順調に栽培しており、花も咲いている状況。
- ②アスパラガスは緑の量が必要だが、繁茂するので、風通しの確保も必要になる。夏季枯れにも注意を払う必要がある。
- ③直売の目玉になる。朝夕2回の収穫も可能なのではないか。
- ④アスパラガスを産地化するなら農家が種から育てられるようにしていくことが必要である。

(3) 地元農業者との農産加工品等に関する検討について

- ①これまで新鮮野菜のPRをしてきたので、収穫祭で加工品のPRも実施したい。
- ②販売を目的とした加工品づくりをするには、施設投資や保健所の許可が必要になるので、ハードルが高い。
- ③加工品づくりを先駆的に取り組んでいる皆さんと打合せしながらどんなPRができるかを検討していくこととする。

(4) 黒川野菜・果物等のPRについて

- ①去年は天候に左右されて、出せる野菜が少なかった。また、車で来る人が収穫体験をする人に限られてしまっているので、重量のある野菜は控えて出品している。
- ②毎年農場の野菜販売のテントに長い列ができるが、列に並ばないと買えないと思う人がいるので、誘導看板を立てるのもよい。

③昨年は、軽トラに野菜を載せて販売し、地元で出しているという PR につながってよかった。

<閉会>

・様々な議論ができた。よい活動ができたと PR できるようにしたい。

以上